

飯山南コミュニティセンター 市長と語る会

日 時：令和 6 年 8 月 20 日（火） 午後 3 時 00 分～4 時 00 分

場 所：飯山南コミュニティセンター

参加者：11 名

担当者：市長、地域担当職員 香川（選挙管理委員会） 鳥井（秘書課）、藤岡（秘書課）

1. あいさつ

（所長）

ただいまより「令和 6 年度みんなでまちづくり。市長と語る会」を始める。本日の進行を務めさせていただく藤村です。よろしくお願いします。はじめに飯山南コミュニティ協議会会長、進 和彦よりご挨拶申し上げます。

（会長）

皆さんこんにちは。「令和 6 年度みんなでまちづくり。市長と語る会」を飯山南コミュニティセンターで開催させていただき、本当にありがとうございます。今日は大変ご多用の中、松永市長、また真鍋議員、竹田議員、秘書課の鳥井さん、藤岡さん、地域担当職員の香川さん、ご出席ありがとうございます。

飯山南の一番大きい問題は、国道の飯山バイパスが令和 9 年度に 4 車線全線開通するとされており、それに向けてどういう地域づくりを進めていくかは、今を生きる役員をしている私達の役割であって、これについては丸亀市、地元議員、皆さま方のお力添えをいただいた中で、ここに住んでよかったと言われる地域づくりをしていかななくてははいけない。

今日は議題といたしまして、3 点整理をさせていただいている。その 1 点は、コミュニティ協議会の方針。平成 17 年 3 月に合併して新市が発足しているが、飯山の場合は南北ともに 1 年間、コミュニティとはどういうことかの勉強会をして、平成 18 年からスタートさせ、地域づくりを進めてまいった。

そういう中で今日まで 19 年、来年の合併 20 年に向けて進めているが、本当に地域というのは大きく変遷しており、平成 25 年までは人口は増えていた。

特に、22 年、23 年、24 年ごろに小さな団地、集落が造成されたところがあった。これは車社会で、丸亀それから坂出、善通寺、琴平、高松、どこへも 35 分ぐらいで行けるという生活の利便性と、北の地価が高くなって南の方にきたという影響が出たが、それからは人口減少をたどっている。今現在、6000 人を切ったらどうしようというような状況になって、人口減少、少子高齢化が如実に現れているところである。

そういうことも含め、コミュニティ協議会の組織のあり方というものが非常に難しい局面を迎えていると思っている。各種団体、30 数団体でコミュニティ協議会の組織を作って、総会の役員会で決定事項、総会提出資料の議案審議する団体であるが、その組織そのものが、警察関係を初め学校関係、それぞれ非常に弱体化して、組織の名前はあがるが下がらない。

例えば交通安全母の会も、名前だけで下がいない。それから子供会も、上はあるが下がいない。女性部に至っても4年前に丸亀市が婦人会を解体した状況で、この各種団体がそういう状況に追い込まれている。

そういう中で、実際にこの協議会方式を貫いて、会則に従っていけるのだろうかというところに差し掛かっている。いろいろ調べてみると、NPO法人などのいろんな検討事項が今後出てくるのではないかと。

もう1つは、市長、また議員等々の力強い支えとご指導をいただき、公園を昨年7月1日に開園することができた。これについて、私たちの方から作ってくれということをお願いして作ったものを、どのようにして活かしていくかというのが私たちの責任である。それは管理運営の面から、実際のどのような活用をするか、地域の連帯の中で地域づくりに役立つかという課題がある。

後程申し上げるが、この土曜日に初めて、手探りの中サマーフェスティバルを実際開催する。これも予算措置はほとんどなしでスタートして、実行委員会を作り、皆の知恵でこぎ着けたところである。

あとは今の公共投資というものが、この地域にどのような形で結びつけていくことができるか。市道の五反地沖線の2車線化の問題、それから学校の整備計画、東小川児童センターの長寿命化に伴う工事など、いろいろな課題を抱えている。それは1つ1つ相当なことではあるが、時間をかけてでもその方向性というものが定まっていくことが、この南部地域の中での飯山南コミュニティの役割であり、またバイパスのすぐ隣であることを活かした地域づくりを進めていくことをお願いすることにした。

大変ご多忙の中、市長には時間をとっていただいて、このような形で開催をしていただき誠にありがとうございます。市の市政をお聞きする中で、私たち地域コミュニティが今こういう状況であることをご理解いただき、それにつきましてご支援、対策など、どうぞよろしくお願いを申し上げます。

(所長)

続いて、市長お願い申し上げます。

(市長)

皆さんこんにちは。日頃から丸亀市政運営において、飯山南コミュニティの方々に深くご理解、またご支援ご協力をいただいていること、まずは心から感謝を申し上げます。本当にありがとうございます。また今日は暑い中たくさんの方に集まっていただき、本当にありがとうございます。また真鍋議員、竹田議員におかれましても、いつもありがとうございます。

まず今年の予算の中心になっているもの、それと質問されていることにお答えしていきながら、また意見をたくさん聞こうと考えている。いずれにしても大変暑くなっているので、皆さんお体には気をつけていただきながら、今日は遠慮なくどンドン言っただけならばと思うので、どうぞよろしく申し上げます。

2. 意見交換

(所長)

意見交換に入る。テーマは「まちづくりは人づくり」。最初に今年度の重点プロジェクトについて説明をお願いします。

(市長)

今年度の予算は、6月議会終わって補正がついて708億円、過去最高の予算である。特徴は投資的経費、これは建築費で約210億円。小中学校14校に対して何らかの形の予算がついている。もちろんその中には飯山南小学校も入っている。一番大きいのは城東小学校であり、土器川の横にあるので台風や大雨の時に、清水川と古子川の両方の水が溢れて必ず冠水するので建て替える。今まで城西小学校と城北小学校を合わせても50億かかってなかったが、物価高騰とか人件費高騰により、城東小学校だけで約50億円と聞いている。

これも1つの例であって、その他たくさんの学校関係の建て替えを今から10数年かけてやっていく。

そういった中で丸亀市は将来を見据えて、人づくりを推進して、市民が主体となった協働のまちづくりをさらに進めるために、協働推進部という新しい部を作った。

農協の「協」に「働く」、協働推進部を作った。

私は市長にさせていただいてからずっと思っているが、人づくりがうまくいけば、子供たちの教育はもちろん、大人もシニアにおいても生涯学習などいろんな意味での人を作っていくことが大切だと思っているので、この人づくりを前面に出すような予算編成をしたところである。

例を挙げると、自治会1件あたり300円の補助していたものを、倍の600円にした。

金額的にはしれているが、丸亀市全体でいうと数千万円というお金になり、これは丸亀市のコミュニティ活動や自治会を大事にしたいという気持ちである。それともう1つ、自治会長費も少し上げた。自治会長をしている方々はポケットマネーを投入する部分もあると思うが、自治会長費を上げることにした。

それと今年は能登で大きな地震があった。

丸亀市は1月5日から7月1日まで、毎日3人ずつが必ず手伝いができるように、延べ200人を超える職員がお手伝いに行って大変喜ばれた。

派遣職員から毎日受ける報告の中で改めて思うことは、やはり地域の人たちの繋がりが結局が一番大事。これは東日本大震災でも、阪神淡路大震災でも同じで、その地域の人たちが協力し合ってどうするかということが本当に大事であるということに改めて考えたところである。

それともう1つ、地元の企業が丸亀市にお金を使っただいて、問題解決をしてくれるということは考えられなかったが、今はもうそういう時代が来ている。

今、丸亀にある企業もお金まで出していただいて、丸亀市の元気なまちづくりや、にぎわいづくり、または問題解決などを一緒にやりましょうという企業もどんどん出てきてきていることも現実である。

それと会長の挨拶にもあったように、コミュニティや連合自治会の次の担い手の人がなかなか育たない、いないということで、これどこもそういう話は聞く。しかしながら、やはりこういう時代は、地元の住民の方々、もちろん私たち行政も一緒になって一生懸命に取り組んでいく形を目指したいと思っている。

それともう1つ、子供たちの人づくりということで、教育委員会で「人づくり石垣プロジェクト」というものを行う。

何をするかということ、3年4ヶ月の間、コロナで学校はかなり休みが多くあった。その影響で、不登校の子供が約倍くらいになっている。日本全国がそうであり、丸亀も同じようになっているので、いち早く元へ戻して、子供たちに元気よく学校に行ってもらおう。そしてまた、学校に行けていない日が多くなることにより、必ず学力にも影響があると思うので、これを早く元へ戻して、またよりよくしていく。

丸亀市費で講師の先生方、そして補助員、支援員を雇う。この補助員と支援員は、教員の資格がなくてもできる。その他、スクールソーシャルワーカーと外国のALT。その他いろんな相談員を全部で51名を雇うということで、現在47~48人決まっていると聞いており、この秋には目標の51人を雇うため、ピンポイントで1人ずつ元先生などをお願いをしている。これを5年間やっていこうと予算をつけ、5年間子供たちの人づくりをきちんとやっていく。

今言ったような形で、小さな子供から生涯学習という意味で大先輩方にも、人づくりが元気なまちづくりに繋がるということに、しっかりと取り組んでいこうと思っている。

(会長)

今言われた中で、私も聞いてびっくりしたことが、自治会長手当と自治会育成費が増額されたこと。ずっと要望してきたが全然相手にしてくれなかった。蓋を開けると説明なしに出されてびっくりしたが、増えたことは非常に気持ちがいい。ありがたくいただき、自治会活動に少しでも力を入れられるように、実際自治会長も喜んでいた。

人づくり石垣プロジェクトの中で、南小学校の支援員から後で意見をもらうが、学校とコミュニティのパイプ役をしている地域コーディネーターが早速取り組ませていただいた。

(女性)

今まで6年間、地域コーディネーターとして学校に入らせていただいた。今年度からスクールサポーターとしても、南小で午前中働くようになった。ボランティアとして入っているときには十分学校のためになっていると思っていたが、やはりボランティアを受け入れる学校側も準備をしなくてはいけないことなど、そのために先生の手を取ることがあったのがすごくわかって、少しでも先生たちが子供たちに関わる時間が増えるようにお手伝いができるようになって、より地域のサポートもしやすくなり、学校側からの意見もすごく聞

こえてくるので、それをまた地域に戻す。4月からとてもうまくいっていると私は思っている。これからも頑張っていきたいと思うのでよろしくお願いします。

(市長)

ありがとうございます。

(会長)

石垣プロジェクトの中で市長からお話はなかったが、学校給食を無償化にされた。例えば昔は、幼稚園の給食費を催促しに行かなければならない方が多くいた。そういうことを見たり聞いたりしてきたので、今の少子化対策の中では非常にいい効果が出るのではないか。見通しはどうか。

(市長)

給食費の無償化は本当に喜ばれており、これはもちろんずっと続く。

人づくり石垣プロジェクトの講師の先生方、支援員、補助員の方々は一応5年間という区切りをつけているが、もちろんうまくいけば予算をしっかりと作って、続けていきたいと考えている。この辺は国県もそういう方向になってくると思っているので、丸亀としては始めた部分は永遠に続けたいと考えている。大変安いのにすみません。本当はもっとたくさん払いたい。

3. 質問

(所長)

事前にお渡しした質問票から、一つ目はコミュニティ協議会組織の弱体化について、会長から補足説明をお願いします。

(会長)

コミュニティ組織の弱体化ということで、部員の確保が非常に困難になっているのが実態。実際に120人ぐらいに部員をお願いしているが、120人のうち33人が地域住民や学識経験者で、毎年変わる自治会長の中で力になってくれる人を選ぶ以外方法がない。いつ定年かといっても70歳くらいまで勤めており、定年後に今更なぜそんなことができるかということである。今のような労働体系になってきた場合、現職の時から地域づくりに参加をお願いする仕組みを作らなければ、退職して今からやりましょうと言っても、特に男性は組織の人間でいたので、みんなと一緒に地域活動に参画することはプライドが許さないのか溶け込んでくれない。はっきり言って女性はその点、いろんな講座で来ている中で選ぶことができる。そのような状況で、部員の確保に非常に困っている。

それからこの地域は農業地域である。飯山南は米どころということで、8月の広報紙にも書いたが、土器川の扇状地でそこにあれが溜まって、飯山南の特色としては山がない。唯一の山が寺領山で、飯山北の桃山のすぐ隣であったが、そこが団地化したので山がない。西の山というのも自治会の名前だけであって丘である。平地であって、ため池と大東川が斜めに

一番長く流れている。仕事を辞めても農業に従事するというので、コミュニティのボランティア活動にも参加していただけないという状況の中で、部員の確保ということで非常に難しい。

そういうところから私は2つのことを考えてみた。1つは、いろんな活動にあたって定期的に続けてやっていただく部分については、一部有償ボランティアにする。活動に対して報償費を支払うことに取り組んでいかななくてはいけない。事業計画書の中で、まちづくりの助成金の中に申請しなければいけない。

年間通して継続的に関わってくれて、いろんな行事を具体的に推進してくれる人は、ボランティアというようなことでの評価をしていきたいと思っている。一番感心するのは、まちライブラリ。毎週水曜日と土曜日、9時から16時まで1日も休まずに全うして、コミュニティセンターへ来た方への対応、本の整理、新しい本の紹介、PR、ものづくりの行事を絡ませてやってくれている。本当に素晴らしい活動だと思っている。

それからコミュニティだよりの発行は非常に大変なことで、毎月2ヶ月分の案を練って、だれがどこに取材に行くか決める。全員が揃って読み合わせをして1字1句まで修正をし、それを補修して印刷にかける。次月発行分の取材についてもきちんとしていなければ発行できないという仕組みになっている。

それから公園管理については後で詳しく説明したい。スポーツイベントは年間通してある。

それから高齢者対策、1つ手を打ってくれてよかったことは、免許証返納者には運転手には500円を出していただくと実際にお聞きしている

それと健康づくりは自主的にやっているが、役員は常に出てきて役員会を開きながら年間を通して、ウォーキングや健康アップ宣言、健康講演会、それから歯磨きや睡眠、食事の目標を立てたものを審査するなど、そういう活動も行われているので、これは事業に載せて有償ボランティア制度を促進していくことが大切ではないか。

部会が6つあるが、なかなか部会で出来ない部分については実行委員会方式で、一番顕著なのが、法の里いきいき祭り。健康づくりについても、副会長中心に健康づくり推進委員会、それから南消防の推進委員会という組織によって、一緒に絡めた活動。

やはり組織で役割を与えていかなければ動いていただけない。部だけで処置できないという問題については、実行委員会形式で取り組む。実際にはどういう手を打っても、部員確保は完全に困難な時代に突入している中で、今しばらくは頑張っ、それでなければ協議会の会則、方式を改正しなければいけない。

そうなった場合に、丸亀市のコミュニティの足並みがそろるか指導が困ると思う。例えば法人化などいろいろあるので、これから本腰で研究していかなければいけないと思っている。

そういう中で、部会が弱体化すればコミュニティセンターの管理運営上の事務職に負担がかかっていく。NPO法人などが活動するようになった場合には、そういう力で一生懸命する人ができたら、協議会方式の中で一番いい。私はコミュニティセンターの管理運営におい

ては、事務職を充実して欲しい。

それから一方では、コミュニティ協議会、それから連合自治会の役割をきちんとして両方が充実することが、これからまちづくり人づくりに繋がっていくと思って今取り組んでいる。特に、部会活動においては人の選出は非常に大変である。生活の利便性が高まったことにより、人に頼らなくても自分で自分のことはできるという考えの人が非常に多くなっている。その中で、人を確保することが非常に困難を極めている。

(市長)

有償ボランティアについては、真剣に考えなければいけない時期だと私も思う。担当課も同じように、有償ボランティアは検討すると言っていた。前向きに検討するように指示はした。飯山南コミュニティの活動は、コミュニティだよりは全国から表彰され、その他も見本となる良い活動をずっとしてきているのも事実である。次を担う人がいないというのは、どこも同じように言われているので、有償ボランティアは検討させていただく。

それと会長から言われた事務職について、あと1人ぐらい雇うというのは検討を始めた。どうなるか分からないが、しっかりと話し合いをしていく。

ただ今の時点で言うと、今あるコミュニティ運営助成金をうまく活用してくださいというのが担当課の答えである。しかし今すぐにはどうにもならなくても、またどこかで補助金をつける検討をしていこうと考えている。

(会長)

1人増員の件で具体的に言ってなかったが、例えば1ヶ月の土日は大体8回はある。所長と事務員、管理人の3人でまわしたらどれくらい出なければいけないか。土日開館であれば当然の勤務であるが、イベントのときには全員が出る。その場合にまたそれだけ必要になるようなことが1つ大きなことである。

それと直接私は知らないが、耳にした範囲ではシルバー人材センターが夜間管理や土日管理をしているところがある。本来合併したときは、所長と事務員と管理人を地域の中でできるだけ調達してお願いしていただきたいと言ったが、実際は手が足りないからシルバーの方へまわしている。シルバーにまわした場合に、例えば昼の時間であろうと、17時以降、土日、夜の時間であろうと、集めた赤い羽根共同募金などを持ってくる。それを担当はいないから受け取りませんと言った場合には、もう納めてくれない。

シルバーに今どれだけ逃げていっているか私は知らないが、人の配置が足りないからこういう結果を生んでいることをはっきりしてほしい。できるだけコミュニティで採用をして、それに対して管理人、事務の役割という部分もきちんと説明する。手が足りないという話では、コミュニティ協議会の弱体化の1つ。

(女性)

人材不足もあるが、民生委員や福祉ママ、人権擁護委員について、市の方から毎年時期が来たら依頼が来る。

会長がいつも大変そうに人をあたっているのを見ていられない。こちらもなってくれる

方が少ないので大変になってくると思う。もう少し市とこのこういう人がいるなどの情報共有の窓口を作っていただきたい。民生委員も何年かで変わるので、どなたに声掛けしたらいいか、多分どこのコミュニティも一緒だと思う。本当に頭を抱えているので、何か市との協力体制をとっていただきたい。

(市長)

私も市長になる前までは川西コミュニティで、民生委員や人権擁護委員が変わるたびにたくさんの人をお願いに回っていたので、ご苦労は分かる。どうしたらいいかは、正直担当もいい案が浮かんでいない。

(会長)

私と思うのは、丸投げしないで一緒にする。頼むと言うだけで自分の仕事が終わったようになっていて、そしてまだですかと催促されると非常に残念である。市は人任せで、こちらは走り回らなければいけない。

(市長)

まずは一緒にやろう、探そうということ。

(女性)

二つ目の法の郷公園管理業務について、会長から補足説明をお願いします。

(会長)

ヒラドツツジが約 1000 本あって、この水やりについては出来るようにしてくれて、ありがとうございます。その他については、去年公園ができてからしてくれていた方が異動したことによって、実際にどの程度どういうふうにしたらいいか。花づくりやトイレ清掃はローテーションできちんとやってくれているが、水やりについては人の確保ができない。ツツジも駐車場の 2 ヶ所については配管ができていないのでホースでかけなくてはいけない。それからしだれ桜と芝、シンボルツリーの水やりはホースでかけなくてはいけない、昨日は恵みの雨でありがたく思っている。

今日は満月なので 6 時からみんなで草抜きをする。飯山中学校のボランティア部の皆さんも 4 時から来て草抜きをしてくれる。

そういう中で、芝は朝晩くらいに水をかけていないとなんか枯れそうで、管理していると水の必要性が分かった。ただ少し気になるのは、香川用水の制限。そこの兼ね合いを見ながら 24 時間でどれくらいの水量を使うか、昼からあくる日の昼まで試験すると、29.6 リットルであった。ずっと穴が開いていて、涙が出るぐらいの程度であるが、それで役割を果たしていることがよくわかった。実際に見ながらやると水やりの大切さ、手遅れになった時の大変さを感じている。市に作っていただいた公園、みんなの力で維持管理する大切さ、そして雨のありがたさをしみじみ思った。

(市長)

公園が出来たことでのご苦労、ありがとうございます。正直言って、飯山南の公園がこの後作る公園の見本になる。

これは追加でこんなふうにした方がいいということがあれば、遠慮なく担当課の方へ言
っていただいて、少しでもいい形になるように後からでもしていってもらいたい。

次に作るのが郡家地区、それと城南地区が土地の話がやっと終わったので、どんなもの
を作るかを今それぞれが考えている。

推測であるが見に来ると思うので、ここはやっぱりこうした方がいいという予算がか
かることも言っていたきたい。他のところもいい公園を作るため、引き続きどうぞよろし
くお願いします。

(会長)

気が付くのが少し遅かったが、暑くなってきて影がない。シンボルツリーは立派過ぎて下
に枝がないので影にならない。

それからベンチについては、フリースペースの東の通路側の方にベンチがあったらいい。
ブランコのところは東屋があるので影があるが、幼児用のスイングのところは保護者が傍
でずっと立って見ているので、横に小さなベンチがあればいい。

これは実際に使ってみなければわからない。感じたのは、ベンチと影。東屋だけしかない。

(市長)

今一番人が来ている東汐入けんこう公園も影がない。今やっと屋根を作るという話であ
る。担当課で検討していこうと思うので、よろしくお願いします。

(真鍋議員)

そんな立派な屋根を付けなくても、遮光ネットだけでもいい。

(女性)

公園の管理に関してはどんどん問題が出てくる。芝生の水やりも大変なので、スプリンク
ラー的なものを簡易的に付けることは可能か。

(真鍋議員)

ホースに付けて置いておくだけなので可能。

(女性)

そういったことは市の担当課にご相談したらいいのか。

(市長)

まず言わなければ絶対何も付かない。

(女性)

また飯山南かという空気を感じる。非常に気を使って連絡しているが、問題が山積みなの
で遠慮なく言ってもよろしいか。

(市長)

言うしかない。今度作るところの見本になると言ってください。今日の分は全部担当課に
話をする。

(会長)

一番初めと言ったら名誉なことだと思うが、実際に作ってみると不便なことがいくらで

も出てくる。1回1回言うのも少し辛い。出来るだけまとめて言うと遅れてくるので大変。

(市長)

先ほど言ったけんこう公園の屋根もすぐには出来ない。行政はやはり時間がかかる。

(所長)

隣のコスモス自治会が本当にありがたいことに毎日トイレの掃除をしていただいている。掃除用具入れは遠慮して言えなかったので、コミュニティで使っていなかったものを持ってきて土で固めて設置している。掃除用具入れが欲しいが、そんなことも言ってもいいか。自治会の方に申し訳ないと思っている。

(所長)

最後に国道438号線について。

(会長)

最初に申し上げたようにバイパスが全線開通するというので、その前側の市道五反地沖線の2車線化について、中ノ坪から保育所までの市道を取り込めば4車線になる。4車線全線開発のときには、どうなっているか。

最初に言われた南小学校について、これは真鍋議員や竹田議員からも聞いているが何年くらいかかるか。

そのようなことも含めて全て整理された場合には、少子化で人口減少だが地域の核づくりができるかとみている。

児童センターについては長寿命化の改修工事をして、子育て支援は少子対策の大事な事業である。児童センターの役割にしても、新しくできる市民会館の2階に児童室が作られるが児童厚生員は2人。東小川は児童厚生員が5人いるので、そこを勉強しながら北と南の子育て支援の核、ひとつの方針として少子化対策に大きな手を打つことにならないか。あわせてお願いしたい。

(市長)

まず私自身も7月に11日間、東京に陳情に行っていた。438号線には2日かけて国土交通省、財務省、国会議員のところに行った。438号線は会長の方からあったように、令和9年度に飯山地区が全線4車線の供用開始を目指していると国県から返答をもらっており、その方向で進むと思っている。

それとあわせて、五反地沖線は歩道を作って道を広げて2車線化。建築課に確認すると、今の時点でいつまでに完成するというのはまだはっきりとわからないとのこと。これは国の438号線にあわせてしていきたいと言っているの、そこは遅れをとらないように前もって進めるようにという話はした。国も予定通りにやるような感じであるが、今は大体先送りになってきているのも事実である。

それともう1つ東小川児童センターについて、昨年度から会長をはじめ議員からもご指導を受けながらも、なかなか進んでいないのも事実である。いろんな方向で考えたいと思っており、担当課には話をしているが、改めて話はしていこうと思う。

(真鍋議員)

小学校については飯山北小学校が長寿命化の改築となったので、少しスケジュールが変わってきている。

(市長)

飯山北小学校が調査によって大丈夫ではないと分かってきて、大幅に改築しないといけないということが新たに出てきた。

(会長)

五反地沖線の南小学校の北側はカーブしている。完全に直すとスピードを出しすぎるので、スピードを出さないような方向で 2 車線化して西側くらいまでは延伸すべきかなと思う。

(市長)

438 号線ができれば歩道橋できる。

(会長)

歩道橋ができて 4 車線になってうまく回るようになって、小学校の改築ができれば完璧。

(真鍋議員)

伊藤部長とは南小学校の北の端を一部道路にして 2 車線と歩道を入れる話はしている。

(竹田議員)

公園の開園を記念して、24 日に法ノリサマーフェスティバルというイベントを開催させていただく。天候が心配なところではあるが、皆さんの気持ちで晴れになればと思っている。たくさんの方に来ていただけるイベントになればと思うが、何分初めてのことなので手探りであり、どれくらい集まってくれるか楽しみでもある。毎年続けていけるようなイベントにしたいと思うので、市の協力をお願いしたいのと同時に、また遊びにおいでになっていたただけらと思う。よろしくお願いします。

(会長)

原川の盆踊りを戦後ずっとやってきた。「正調一合まいた」は、徳島文理大学の教授が指定しないかと言ったが、その時に世話してくれた人が指定を受けたら大変だと申出を受けなかった。踊りは伝統的であり、16 日の延長線でやることになった。本当は交通が非常に危険なので、やめてここで一緒にしないか説得をしたが断られた。やはり地域の伝統は守らなければいけないということで、原川と北の上真時が中心となって歴史と伝統があるので、南コミュニティに移すわけにはいかないとなった。ただし祭りの総踊りには参加して中心になってやってくれると、獅子組がしっかりしているので小学生から大人までが獅子組を作って踊りの中心となっている。そういうことで伝統芸能も継続させていく意味合いも兼ねて、新しく公園で総踊りをすることに決めた。

(所長)

以上で終わりとする。ご出席の皆さまにはこれまで同様、活動のご支援お願いします。ありがとうございました。